

いわた  
文化財だより 第223号

磐田市教育委員会教育部文化財課 令和5年10月2日発行

目次

- 歴史文書館第27回企画展  
大地を潤す寺谷用水 . . . . . P1~2
- 公開・イベント開催情報 . . . . . P3
- 埋蔵文化財センター展示品紹介 第1回 . . . . . P4
- 『むかしの道具』江間正典 . . . . . P4



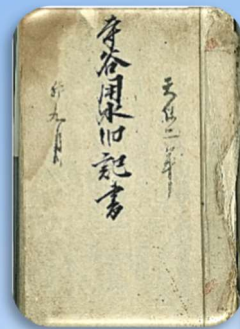
寺谷用水取水口再現模型  
(寺谷用水土地改良区蔵)

# 寺谷用水

大地を潤す

歴史文書館第27回企画展

DAICHI WO URUOSU  
TERADANI YOUSUI



渥美国太郎家文書  
「寺谷用水旧記書」(個人蔵)



令和5年11月6日(月) ▶ 12月22日(金)

11月23日(木・祝)、12月9日(土)、12月16日(土)は特別開館します

展示解説開催!

11月23日(木・祝)、12月16日(土)  
10時~、14時~  
(申込不要。直接会場へおこしください)

- ◆休館日 土曜日・日曜日・祝日
- ※11月23日(木・祝)、12月9日(土)、12月16日(土)は特別開館
- ◆時間 9時~17時(入館は16時30分まで/入場無料)
- ◆会場 磐田市歴史文書館1階、2階展示室(磐田市竜洋支所内)
- ◆問合せ先 磐田市歴史文書館 電話:0538-66-9112



昨年10月、「世界かんがい施設遺産※」に登録された寺谷用水。天正16年(1588)に着工し、天正18年に完成して以降、400年余にわたり、農業用水として人々の暮らしを支えてきました。

本企画展では、災害と闘いながら寺谷用水を守り伝えてきた民衆の知恵と努力を、市内にのこされた貴重な資料から紹介します。



歴史文書館イメージキャラクター  
「文字朗」

※世界かんがい施設遺産…建設から100年以上経過し、かんがい農業の発展に貢献したもの、卓越した技術により建設されたもの等、歴史的・技術的・社会的価値のあるかんがい施設を登録・表彰するために、国際かんがい排水委員会(ICID)が創設した制度。

## みどころ① 暴れ天竜から水を取る

天竜川の流れから直接水を取り入れた寺谷用水は、洪水のたびに取入口が壊れたり、埋まったりして移動を余儀なくされてきました。取入口の変遷と洪水との関係を、絵図と文書を比較しながら見られるようになっていきます。

また、寺谷用水取入口の再現模型を展示して、その構造をわかりやすく解説しています。

渥美國太郎家文書「寺谷用水旧記書」  
天保二年（一八三一）（個人蔵）

【意訳】天竜川が前代未聞の洪水で、（土砂により）川床が高くなり、用水路が埋まってしまった。

取入口高川原ニ罷成井路按外押埋り

天竜川前代稀成洪水ニ而  
寺谷用水取入口

## みどころ② 水を通すために

洪水被害による補修は、取入口だけでなく、寺谷用水から分水する各<sup>いりひ</sup>塚樋※も同様でした。渥美國太郎家文書などには、<sup>もくろみちよう</sup>塚樋の修復のための<sup>できがたちよう</sup>工事計画書である「目論見帳」や完了報告書である「出来形帳」が残されており、その形状等を詳しく知ることができます。

※入樋…取入口や堤防、道などに埋め込んだ水を通すための管。



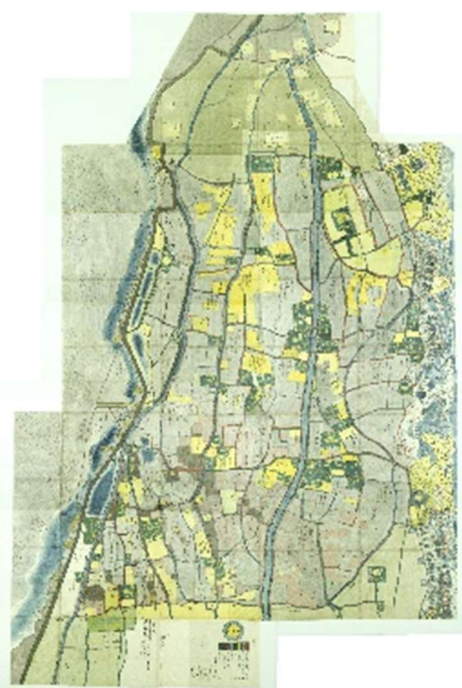
渥美國太郎家文書  
つみかわよけくやくこふしんできがたちよう  
「堤川除国役御普請出来形帳」  
文政7・11年、天保4・5年  
(1824・1828・1833・1834)（個人蔵）

## みどころ③ 磐田を潤す寺谷用水

寺谷用水土地改良区（加茂）玄関に展示されていた寺谷用水全体を描いた絵図や、匂坂中村（現匂坂中）の用排水路の詳細を描いた絵図など、当時の人たちが大切にしてきた用水の全体を示す絵図を展示します。絵図により分水の塚樋がどこに作られ、どのように全域の農地を潤していったのかを解説します。

また、左の絵図2点の原本を、**11月23日（木・祝日）、12月9日（土）、12月16日（土）の特別開館日にのみ公開**します。

原本をご覧に、ぜひ特別開館日にもお越しください。



「匂坂中村絵図」文久3年（1863）（磐田市歴史文書館蔵）

### ひとがみ 歴史学習会「寺谷用水と人神信仰」開催のお知らせ

日時：令和5年12月9日（土）13時30分～15時

講師：中山正典氏（静岡県立農林環境専門職大学准教授）

内容：寺谷用水の創設者・平野重定に対する信仰、寺谷用水の歴史及び今なお私たちの暮らしを支える農業用水についてわかりやすく解説していただきます。

定員：60人（先着順） 参加費：無料

会場：竜洋支所2階会議室

申込：11月1日（水）9時から 電子申請で



←電子申請用  
二次元コード

# 公開・イベント開催情報

**開催決定**

## 登録有形文化財 津倉家住宅公開

明治22年(1889)に建てられた豪商・廻船問屋「津倉家」の見学会を開催します。掛塚湊の繁栄の歴史を伝える貴重な文化財を見学してみませんか。



津倉家住宅



日時 令和5年10月21日(土)  
10月22日(日)  
9時～16時(入場は15時30分まで)  
場所 掛塚1099  
申込不要・見学無料  
駐車場 天竜川掛塚橋南側河川敷駐車場  
津倉家住宅については、文化財だより第217号(右二次元コード)をご覧ください

問合せ先 歴史文書館 電話:0538-66-9112



**10月28日から  
募集開始**

## 旧赤松家記念館 かすりの着物で写真撮影

かすりの着物を着て、赤レンガの門や塀をバックに、写真を撮ってみませんか。水鉄砲や竹馬など昔の遊びを楽しめるコーナーもあります。

日時 令和5年11月25日(土)  
1部 9時30分～10時30分  
2部 10時45分～11時45分  
場所 旧赤松家記念館(見付3884-10)  
定員 各部先着10人 **参加費無料** 要保護者の付添  
申込 10月28日(土)から先着順で受付



昨年度の様子

ハガキ、FAXまたは旧赤松家記念館に、直接お申込みください。その際に以下の6点についてお知らせください。

- ①参加者氏名
- ②性別
- ③学校(園)名
- ④学年
- ⑤身長
- ⑥保護者の住所・氏名・電話番号

その他 撮影は、保護者の方がおこなってください。

旧赤松家記念館については市ホームページの施設ガイド(右二次元コード)をご覧ください。



問合せ先 旧赤松家記念館 電話&FAX 0538-36-0340(月曜・祝日の翌日休館)

# 埋蔵文化財センター展示品紹介

## 第1回 <sup>どうやま</sup>堂山古墳出土<sup>とも</sup>鞆形埴輪（県指定文化財）

「埋蔵文化財センター展示品紹介」、第1回となる今回は、この度一部展示替えをおこないエントランスで皆さんをお出迎えすることになった、堂山古墳から出土した鞆形埴輪を紹介します。

堂山古墳（東貝塚）は、約1600年前の古墳時代に造られた全長110mを測る、県内最大規模の前方後円墳です。鞆とは、弓を射る時に弦が手首にあたらぬように手に巻いた武具です。実物の鞆よりはるかに大きく模して作られたこの埴輪には、直線と円弧を複雑に組み合わせた古墳時代特有の模様である「直弧文」がデザインされています。

埋蔵文化財センターで、形だけでなく模様にも注目してじっくりご覧ください。

※2023年10月2日時点での展示情報です

埋蔵文化財センターについての詳しい情報は、市ホームページの施設ガイド（右二次元コード）をご覧ください。



堂山古墳出土鞆形埴輪

高さ 35.3 cm、最大幅 39.1 cm



### 職員リレー コラム

#### むかしの道具

江間 正典

小学校3年生の社会科で、昔の暮らしを学ぶ授業があります。文化財課では、寄贈された「むかしの道具」を保管しているため、それらの道具を学校へ持参し、道具の歴史や使い方を紹介したりする機会があり、「昔は、電気やガスが無かったから、薪を燃やして羽釜<sup>はがま</sup>でお米を炊きました。火加減が難しいけど、上手に炊けばおいしいご飯が出来るんだよ。」といった具合に道具の紹介をします。



炭火アイロン

石うすと杵



昔の暮らしを再現した展示

子供たちは、「むかしの道具」から、昔の人たちの大変さを感じるのですが、初めて見る道具に目を輝かせて、「昔の暮らしは楽しそう。」「羽釜でご飯を炊いてみたい。」といった反応が返ってくることもあります。

旧見付学校には、貴重な教育資料の展示や、昔懐かしい道具の展示、昔の遊びや道具の体験コーナーがあります。秋のひと時、昔の暮らしを感じに、旧見付学校をのぞいてみませんか。

旧見付学校 磐田市見付 2452-1 入館無料【開館時間】9時～16時30分

【休館日】月曜（祝日の場合開館、翌火曜に休館）、年末年始（12/29～1/3）

編集後記 10月30日まで、アピタ磐田店にて『家康と磐田』と題した展示をおこなっています。市内の家康ゆかりの地や、家臣の活躍などを紹介しています。ぜひご覧ください。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部文化財課（磐田市埋蔵文化財センター）  
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1  
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。磐田文化財だより

検索